

国内から

## 敷島製パン労働組合様へ 報告会をさせて頂きました

【東京=千々岩 友梨】

Hope Schoolへのご支援を頂いている、敷島製パン労働組合様の定期大会にて、メータオ・クリニック、メータオ・クリニック支援の会、移民学校及びHope Schoolについてご報告させて頂きました。

遠い場所での、私達と文化・環境が異なるミャンマーの子供たちが少しでも身近になって頂ければと、そして、組合の皆様が、ミャンマーの移民たちに目を向けてくださり、そして手を差し伸べてくださった事が嬉しく、その感謝の想いを込めて、資料を準備し、当日お話をさせて頂きました。

報告会では、熱心に皆様に聞いて頂けて、このような素敵な機会を提供してくださった執行部の皆様には本当に感謝しています。

敷島製パン労働組合様からご支援を頂いて、元気に勉強している子供たち。

彼らにとって、作って頂いた校舎を通じて、日本がそんなに遠い国ではないように、組合の皆様にとっても子供たちをより近くに感じて頂ける機会となっていました。



写真上：新校舎内で元気に勉強する子供たち



写真上：報告会の様子

## グローバルフェスタのおはなし

【東京=田中 増美】

いつも、メータオ・クリニックや国境地域へ関心を寄せて下さり、また、継続したご支援を賜り、誠にありがとうございます。

さて、毎年、10月に東京の日比谷公園にて盛大に行われる、「グローバルフェスタ」(略してグロフェス)が今年も10/6(土)、7(日)10:00～17:00に日比谷公園にて開催されます。



グロフェスは、国際協力に関心のある団体がたくさん、たくさん集まってブースを出します。まるで総合大学の学園祭のような賑わいです。国の機関の出展もあれば、学生さんのサークルでの出展もあります。

世界中の民芸品や小物などの販売もあります。特にアフリカやアジアのものが豊富です。一点物が多いので、おしゃれさんには、お気に入りが見つかるとのことで国際協力に特に興味がない人も、ある人も、買い物に来ます。

私が毎年楽しみにしているのは、食べ物のブースです。タイミングがお昼時だったりすると、20分くらいは、行列に並ばなければなりませんが、これもなかなか食べる機会がない、めずらしいものが多くたりするので並ぶ価値は大きいと思います。

そんなわいわい楽しいグローバルフェスタに当会も、おととし、昨年に引き続き、3年連続で出展させていただけたことが先日、決定いたしました。JAMにとっては、知名度をあげるためにも、グロフェスへの出展は、毎年、一大イベントです。

毎年、日頃、なかなかお会いする機会がなく、久しぶりにお会いする方々や支援してくださっている方も多く訪ねてくださるので、とてもワクワクしています。自分たちの会をアピールしながら、スタッフ自身も他のブースに遊びに行ったり、気に入ったものを見つけて買ってきたり、みんなでお祭り気分を楽しんでいます。

今年も、先日のスタディツアード行ったスタッフがメソトの街で購入し、がんばって持つて帰ってきた雑貨をたくさん販売します。

収益は、すべてJAMやクリニックの活動資金となります。そのため、売り上げが伸びるかどうかは、とっても重要です。

昨年よりも、さらにたくさん持ち帰ってくることができました。ほとんどがいっぴんものなので 早い者勝ちです☆

昨年は、現地の服が1日目の朝に完売してしまうほどの大好評でした。

昨年のブースの場所は、とても人通りが多いところで、多くの方が立ち止ってくださいました。

そして昨年一番の興奮は、藤原紀香様とも、目があったことでした。本当に非常にお美しかったです。

グロフェスは、そんな出会いもあるおまつりです。

今年のグローバルフェスタは、3連休の1、2日目での開催です。ぜひ、東京以外にお住まいの皆様もご都合がよろしければ、グロフェスに足を運んでみてはいかがでしょうか。そして、JAMのブースにもお立ち寄りいただければ幸いです。

## スタディツアーアー2012のご報告

【ツアーアー企画担当 渡邊 稔之（東京医科歯科大学5年）】

7月29日から8月4日にかけて、JAM Study Tour 2012が実施され、社会人7人、大学生2人の合計9名の方が参加されました。

6日間のツアーアー中には、メータオ・クリニック、国境、難民キャンプ、移民学校を訪問し、



さらに学校保健表彰セレモニーにも参加するというとても濃厚なツアーでした。

【1日目】7/29



朝9時に成田空港に集合し、バンコクへと旅立ちました。今回、現地の子どもたちへの寄付として大量のリコーダーを持参しました。商業目的の持ち込みだと思われて税関で没収されてしまわなかとヒヤヒヤでしたが、子どもたちへのギフトだということが伝わり、無事に税関を通過。その後、貸し切りバスで、世界遺産で有名なアユタヤに移動し、晩御飯を食べました。霧のために山道で時間がかかり、バンコクからメータオクリニックのあるメーソットまで8時間かかり、メーソット市内のホテルについたのは翌7/30の午前3時でした。

【2日目】7/30

この日は昼前からメータオ・クリニックを見学しました。一つ一つの建物を周りながら、現地スタッフの前川がクリニックの現状を参加者の皆さんに説明しました。

百聞は一見にしかず、ということわざ通り、当会が支援しているクリニックがどのような場所であるのかを参加者の皆さんに直接知っていたらしくことができたと思います。

午後はタイ・ミャンマーの国境を流れるモエイ川を訪れ、国境のマーケットで買い物をしました。

川自体が国境であり、対岸はもうミャンマーであるということに驚かれる方もおられました。



【3日目】7/31



朝からSVA（シャンティ国際ボランティア会）さんのご案内のもと、Umpium難民キャンプを訪れました。実際に難民の方がどのようなところに住み、どのような生活をしているのか、どのようなお気持ちなのかを少しだけですが知ることができました。また、キャンプ内の医療施設とメータオ・クリニックとの違いについても考えさせられました。

メーソットに帰った後、難民の画家であるマウンマウンティンさんのお家にご招待され、晩御飯をご馳走になりました。



【4日目】8/1

この日から医学部の学生さん2人が遅れて合流し、2つの移民学校を見学に行きました。

移民の子どもたちがどのような環境で勉強をしているのかということを直接見聞きすることができたと思います。とにかく子どもたちの元気さに圧倒されました。午後はメータオ・クリニック院長のシンシア先生と、お忙しい中、幸運にも会うことができ、直接お話を聞くことができました。





【5 目目】 8/2

この日は学校保健表彰セレモニーに参加しました。それぞれの移民学校が、自分たちの学校保健の状況について自己評価・相互評価をし、一定の水準をクリアした学校にメダルが授与される年に1回の表彰式です。

生徒たちによる表彰の前後の出し物もほぼ全て保健や衛生に関わるものでした。

メソット滞在も残り少なくなってきたため、夕方はメソット市内の民芸品のお店へお土産を買いに行きました。

【6 目目】 8/3

タイ滞在最終日のこの日は、朝からメソット市内のマーケットを訪問して朝食をとりました。

その後バスでバンヨクまで移動し、帰途につきました。



編集後記

先日、賛助会員の方から、メールをいただきました。会報の感想でした。

実は、メールで感想をいただく機会はあまりなかったので、とてもうれしかったです。

会報メールを毎月送ってはいるものの、届いた皆さんには、どの程度、読んでいただけてるんだろうと心配しつつ、皆さんは、現地のどんなことが知りたいと思っているんだろう、と考えながら、毎月、編集しています。

もし、「こういうことが知りたいな」「この記事がおもしろかった」などのご意見、ご感想がありましたら、隨時、日本事務局あてにメールをいただけますと幸いです。

## 次号の予定

次号の JAM の会報は、10月中～下旬ごろ発行の予定です。

ホームページは、随時更新していくので ぜひ、お時間があるときにご覧ください。

日本事務局宛て E メール : support@japanmaetao.org

ホームページアドレス : [www.japanmaetao.org](http://www.japanmaetao.org)

※掲載されている全ての内容、文章の無断転載を禁止します。

